

# 成果の発表等

## 学会・学術シンポジウム等での報告

No.	月日	発表者	題名	会の名称	対象者概数
1	12月8日	山田大貴	伊勢湾におけるヒトエグサ複合養殖について	水産海洋地域研究会 第14回 伊勢・三河湾の環境と漁業を考える - 環境変動に対応した漁業経営 -	関係者100名
2	12月8日	岩出将英	新規藻類養殖の取組～スジアオリ養殖技術の確立～	水産海洋地域研究会 第14回 伊勢・三河湾の環境と漁業を考える - 環境変動に対応した漁業経営 -	関係者100名
3	2月16日	久野正博	水産業におけるICT活用の先行事例～三重県における衛星リモートセンシング技術の活用～	水産海洋地域研究会 第28回熊野灘の漁業を考える「水産業におけるICT活用の現状と課題」	関係者72名
4	2月16日	笹木大地	三重県水産業におけるICT導入の検討	水産海洋地域研究会 第28回熊野灘の漁業を考える「水産業におけるICT活用の現状と課題」	関係者72名

## 掲載論文

NO.	著者名	題目	投稿誌・書籍名、号、ページ
1	世古将太郎, 市川 光太郎, 土橋 靖史, 阿部 文彦, 三田村 啓理, 荒井 修亮 (共著) □	スパゲティタグを利用したイセエビへの超音波発信機の装着法の開発	日本水産学会誌 (2019) 85 (1), 67-69
2	岡田誠・久野正博	熊野灘における秋季のまき網漁況と御前崎～犬吠埼間の黒潮流路	黒潮の資源海洋研究 (2019) 20, 39-44
3	笹木大地・岡田誠	三重県で漁獲されたサワラの年齢査定	黒潮の資源海洋研究 (2019) 20, 99-104

## 保有する特許

発明の名称	登録番号	出願人	発明者 (うち所の者に下線)
アコヤ貝の閉殻力の測定方法およびそれを用いたアコヤ貝の養殖管理方法	特許 4793917 (H23/8/5)	三重県、JST	<u>林政博</u> 、古丸明、富永ちひろ
挿核施術をした真珠貝の養生方法及びその養生装置	特許 4599494 (H22/10/8)	三重県	<u>林政博</u> ・青木秀夫
魚病に対する免疫賦活剤及び飼料	特許 5906369 (H28/4/1)	三重県	大野裕和・ <u>羽生和弘</u>

## 職場体験等への対応

NO.	時期	対応者・対応課室	対応内容	講演会・視察等の名称	対象者概数
1	6月5日～8日	鈴鹿水産研究室 研究員	研究業務体験	鼓ヶ浦中学校職業体験学習	2年生 4名
2	9月11日～14日	鈴鹿水産研究室 研究員	研究業務体験	白子中学校職場体験学習	3年生 4名
3	11月14日～16日	鈴鹿水産研究室 研究員	研究業務体験	天栄中学校職場体験学習	2年生 2名

一般公開

No.	月日	内容	会の名称	参加者概数
1	7月28日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水産研究所の研究成果</li> <li>・ウロコによる魚の年齢査定</li> <li>・イセエビのフィロソーマ幼生の展示</li> <li>・白色系・ゴールド系真珠の展示</li> <li>・養殖マダイ、養殖カワハギ種苗の展示</li> <li>・プランクトン観察</li> <li>・おさかなクイズラリー</li> <li>(ポスター、研究成果物展示等)</li> </ul>	夏休み特別企画 「三重県水産研究所ってどんなところ？」 (開催地: 三重県総合博物館MieMu)	一般県民等 305名

## 研修会、講演会等での報告

No.	月日	講師	講演内容	会の名称	対象者概数
1	4月20日	辻 将治	・伊勢・三河湾における「水産環境整備マスタープラン」の策定に向けた調査	赤須賀漁協青壮年部研究会第41回通常総会	漁業者等40名
2	4月28日	辻 将治	・平成29年度アサリ・バカガイ・トリガイ分布調査結果報告	鈴鹿市漁協青壮年部総会	漁業者等35名
3	5月3日	辻 将治 羽生和弘	・海をきれいにする二枚貝のパワーを体験しよう	ミエム企画展「貝のヒミツ」関連イベント 出前講座	県民等70名
4	6月8日	羽生和弘 辻 将治	・波浪の影響の低減によるアサリ増殖の試み ・アサリ稚貝の発生状況について ・伊勢・三河湾における「水産環境整備マスタープラン」の策定に向けた調査	三重県アサリ協議会	漁業者等30名
5	6月12日	山田大貴	・昨漁期の概況とノリ関係事業の成果について	黒のり養殖研究会漁期反省会	漁業者等35名
6	6月19日	竹内泰介	・日本の海女文化「アワビ類の生活史と資源増殖」	日本文化論講義（一般教養課程）	教員、学生80名
7	6月21日	宮本敦史 館 洋 山田大貴	・三重県水産研究所の概要 ・三重県産水産物の「高付加価値化」と「低・未利用水産物の有効利用」を目指して ・伊勢湾産アサリの特産化に向けた取り組み	三重大学特別講義	教員、学生50名
8	6月29日	山田大貴	・アサリに関する研究成果とアンケート調査結果の還元	桑名地区四漁協漁期反省会	漁業者等40名
9	6月30日	辻 将治 清水康弘	・干潟（ひがた）の働きについて	四日市港いきもの観察会	県民等30名
10	7月3日	笹木大地	・伊勢湾における底びき網対象資源の動向について	三重県小型機船底びき網協議会総代会	協議会役員等27名
11	7月8日	津本欣吾	・伊勢えびについて	三重県障がい者ふれあい交流会	県内の障がい者140名
12	7月14日	清水康弘	・大切な伊勢湾の海と私たち	海と森林を結ぶ交流事業	県民30名、漁業者等30名
13	7月17日	津本欣吾	・鳥羽の海の幸について	鳥羽市地域交流街づくり委員会勉強会	鳥羽商工会議所青年部役員 20名
14	7月18日	山田大貴	・鳥羽地区における食害対策の取組について	全国のり研究会	他県ノリ担当者等50名
15	7月24日	辻 将治 羽生和弘	・アサリ稚貝の発生状況について	伊勢湾漁協9共採貝部会	漁業者等10名
16	8月1日	宮本敦史	・三重県水産研究所の概要	灘中学・高校生物研究部	教員、学生25名
17	8月3日	山田大貴	・昨漁期の概況とノリ関係事業の成果について	下箕田地区漁期前研修会	漁業者等30名
18	8月4日	山田大貴	・昨漁期の概況とノリ関係事業の成果について	鳥羽地区黒のり研究協議会総会	漁業者等30名
19	8月6日	岩出将英	・三重県の青さのり養殖の現状と課題	渥美漁協青のり研究会	愛知県漁業者等30名
20	8月7日	笹木大地	・クルマエビの夜間放流について	伊勢湾地域栽培漁業推進協議会	協議会委員14名
21	8月21日	羽生和弘	・碎石覆砂区でのアサリの成長と生残について	9共採貝部会	漁業者等10名
22	8月21日	津本欣吾 久野正博 宮本敦史	・調査船を用いた海洋調査 ・三重県水産研究所の概要	伊勢高校SSH	教員、学生13名
23	8月22日	山田大貴	・昨漁期の概況 ・今漁期の対策とノリ関係事業の成果について	三重県黒のり漁期前研修会	漁業者等130名
24	9月5日	田中真二	・養殖マハタの疾病対策について	養殖マハタ関係者会議	漁業者等30名
25	9月13日	久野正博 岡田 誠 笹木大地	・熊野灘における秋季の漁況と御前崎～犬吠埼間の黒潮流路 ・三重県で漁獲されたサワラの年齢と成長	中央ブロック資源海洋調査研究会	水産研究関係者100名
26	9月21日	津本欣吾	・沿岸漁業にまつわる科学的分析	産官学連携セミナー	関係者50名
27	10月4日	辻 将治	・伊勢湾における稚貝場・母貝場調査について	広域漁場整備実証事業第1回現地検討会	行政関係者等10名
28	10月17日	清水康弘	・伊勢湾におけるアサリ、黒ノリ養殖の研究について	三重大学 海洋食文化実習	教員、学生等40名
29	10月19日	山田大貴	・今漁期の生産対策及び研究課題等について	伊勢湾漁協黒ノリ養殖座談会	漁業関係者40名
30	10月21日	栗山 功	・三重県水産研究所における真珠養殖に関する研究	市民科学談話会-2018,志摩-	真珠養殖関係者40名
31	10月22日	久野正博	・衛星観測データと現場観測データを活用した海況情報の提供	技術開発・研究事例セミナー	農林水産部職員50名
32	10月23日	久野正博	・2018年春季の三重県におけるブリ漁況と標識魚の再捕	ブリ資源評価・予報技術連絡会	水産研究関係者40名
33	10月25日	宮本敦史	・三重県の漁業および水産研究所の概要	三重大学海洋食文化実習	学生等27名
34	11月1日	久野正博	・三重県における浮沈式浮魚礁の特徴について	浮魚礁担当者会議	浮魚礁担当者30名
35	11月12日	松田浩一	・伊勢えびの生態と漁獲動向	志摩市SDGs普及促進イベント	シェフ等100名
36	11月13日	久野正博	・2018年春季のブリ漁況と今後の見通しについて	三重県定置漁業研究発表会	定置網漁業関係者40名
37	11月15日	藤原正嗣 栗山功	・漁場環境調査とプランクトンの検鏡手法について	神明真珠研究会	漁業者5名
38	11月21日	久野正博	・熊野灘の下層水温と黒潮大蛇行	関東・東海ブロック水産海洋連絡会	海洋研究関係者25名
39	11月26日	竹内泰介	・コンクリート板を用いた新しいアワビ放流漁場について	三重外湾域栽培漁業推進協議会	協議会委員15名
40	11月27日	久野正博	・熊野灘沿岸へのカツオ来遊状況と海況	カツオに関する最近の話題と意見交換会	水産関係者44名
41	11月28日	岩出将英	・三重県の青さのり養殖の現状と課題	青さのり養殖研修会	漁業者等100名
42	12月3日	山田大貴	・今漁期の生産対策について	桑名地区生産者漁期前研修会	漁業者等50名
43	12月5日	笹木大地	・マアナゴ着底稚魚による新たな加入量推定方法の検討	アナゴ漁業資源研究会	水産研究関係者25名
44	12月6日	宮本敦史	・三重県の漁業および水産研究所の概要	三重大学生物資源学部研修	学生等40名

No.	月日	講師	講演内容	会の名称	対象者概数
45	12月8日	岩出将英 山田大貴	・新規藻類養殖の取組～スジアオノリ養殖技術の確立～ ・伊勢湾におけるヒトエグサ複合養殖について	水産海洋地域研究集会	漁業者、行政、研究者等 100名
46	1月16日	羽生和弘	・三重県でのアサリ漁業について	北海道アサリ勉強会	漁業者・行政・研究者等 70名
47	1月16日	清水康弘	・アユの早期放流について	内水面漁連研修会	漁業者等30名
48	1月18日	羽生和弘	・伊勢湾の干潟の現状とアサリ資源の回復に向けた取組	産官学連携セミナー	行政関係者等50名
49	1月23日	辻 将治	・伊勢湾における稚貝場・母貝場調査について	広域漁場整備実証事業第2回現地検 討会	行政関係者等10名
50	1月26日	倉田恵吉	・イカナゴ資源の状況について ・伊勢湾におけるヒトエグサ複合養殖について	三重県船びき網漁業協同組合総会	漁業者等28名
51	1月28日	山田大貴	・桑名地区の状況について	桑名地区状況報告会	漁業者等40名
52	1月30日	館 洋 岩出将英	・御食国の多様な食文化(持続可能な海藻利用)	御食国食文化展開事業海藻プログラム	イタリア食文化大学学生 15名
53	2月1日	辻 将治	・伊勢湾におけるアサリ稚貝場・母貝場調査について	II型共同研究第2回連絡会議	行政関係者等20名
54	2月5日	宮本敦史	・三重県の漁業および水産研究所の概要	愛知県漁連渥美支部研修	漁業者等4名
55	2月9日	倉田恵吉	・イカナゴ資源の状況について ・伊勢湾におけるヒトエグサ複合養殖について	三重県ばつち網漁業協同組合総会	漁業者等33名
56	2月10日	岡田 誠	・三重県におけるトラフグ漁業の現状と課題	トラフグ漁業管理に関する勉強会	漁業者等30名
57	2月12日	倉田恵吉 岡田 誠	・イカナゴ資源の状況について ・いわし類、さば類の資源と来遊について	白塚水産加工業協同組合	水産加工業者等16名
58	2月16日	久野正博 笹木大地	・水産業におけるICTの先行事例～三重県における衛星リモートセンシ ング技術の活用～ ・三重県水産業におけるICT活用事例	水産海洋地域研究集会「熊野灘の漁 業を考える」	漁業者、行政、研究者等 72名
59	2月18日	岡田 誠	・いわし類、さば類の資源と来遊について	三重県まき網連合会総会	漁業関係者等30名
60	3月4日	館 洋 達原幸奈	・サワラのブランド化の取組について ・マハタ種苗生産技術の開発～さらなる形態異常率の低減に向けて～	水産研究所成果報告会	市町水産担当者等25名
61	3月7日	増田 健 栗山 功	・英虞湾の環境について ・平成30年度に水産研究所が実施した真珠養殖に関する調査研究につ いて	第9回三重水産フォーラム	漁業者等62名
62	3月19日	松田浩一 田中真二 田路拓人	・五ヶ所湾を中心とした魚類養殖漁場の水温について ・平成30年度の魚病発生傾向と対策 ・マダイ・マハタ養殖における低魚粉飼料の導入の可能性	水産研究所における魚類養殖に係る 研究の成果報告会	漁業者等15名
63	3月19日	倉田恵吉	・イカナゴ試験びき結果について	三重県ばつち網漁業協同組合・三重 県船びき網漁業組合同役員会	役員等19名
64	3月27日	松田浩一 田中真二 田路拓人	・尾鷲湾周辺の水温動向について ・平成30年度の魚病発生傾向と対策 ・カワハギ養殖技術開発試験の結果	尾鷲市海面養殖振興協議会研究合 同部会	漁業者等10名
65	3月28日	達原幸奈	・マハタ種苗生産技術の開発～平成30年度の研究成果～	マハタ種苗生産研究成果報告会	尾鷲栽培漁業センター職員 等4名

